



模擬試験

2021年05月版

Copyright © EXIN Holding B.V. 2021. All rights reserved.
EXIN® is a registered trademark.
SIAM™ is a registered trademark.

No part of this publication may be reproduced, stored, utilized or transmitted in any form or by any means, electronic, mechanical, or otherwise, without the prior written permission from EXIN.



目次

はじめに	4
模擬試験	5
解答集	14
評価	33

はじめに

これは EXIN SIAM™ Foundation (SIAMF. JP) のサンプル試験です。この試験は EXIN 試験の規則および規定を適用します。

本試験は選択式の問題が 40 問で構成されます。特に明記しない限り、各問題には、選択肢が複数ありますが、そのうち正解は 1 つのみです。

この試験で取得できる最大点数は 40 点です。各正解には 1 点の価値があります。試験に合格するには 26 点以上が必要です。

本試験の制限時間は 60 分です。

ご健闘をお祈りいたします。

模擬試験

1 / 40

SIAMから多くの価値を得ることがあまりできない組織は何ですか？

- A) 複数の内部サービスプロバイダと外部サービスプロバイダが混在する環境
- B) 単一のサービスプロバイダのみが存在する環境
- C) 複数の外部サービスプロバイダのみが存在する環境
- D) 複数の内部サービスプロバイダのみが存在する環境

2 / 40

どのSIAMの推進力グループが、データと情報標準の推進力を含んでいますか？

- A) 外部推進力
- B) オペレーショナル効率
- C) サービスとソーシングの状況
- D) サービス満足度

3 / 40

SIAMエコシステムにおけるサービスプロバイダの責任は何ですか？

- A) デリバリ
- B) エンドツーエンドのインテグレーション
- C) ガバナンス
- D) 戦略

4 / 40

どのSIAMエコシステムのレイヤが、エンドツーエンドの保証を行いますか？

- A) 顧客組織
- B) リテインド能力（ケイパビリティ）
- C) サービスインテグレータ
- D) サービスプロバイダ

5 / 40

ある組織がSIAMへの移行を希望しています。この組織は、サービスプロバイダがサービスインテグレーションに対する偏見を持ち非難するのを避けたいと考えています。

偏見を持ち非難するビヘイビアの可能性が最も低い2つの構造は何ですか？

回答を2つ選んでください。

- A) 外部サービスインテグレーション
- B) ハイブリッドサービスインテグレーション
- C) 内部サービスインテグレーション
- D) リードサプライヤサービスインテグレーション

6 / 40

ハイブリッドサービスインテグレーション構造で、コラボレーションしてサービスインテグレーションのケイパビリティ（能力）を提供するのはどの組み合わせですか？

- A) 顧客組織と外部組織
- B) 顧客組織と内部サービスインテグレーション
- C) 外部サービスインテグレーションとリードサプライヤ
- D) 内部サービスインテグレーションとリテインド能力（ケイパビリティ）

7 / 40

どのSIAMロードマップのステージが、役割と責任に関する原則とポリシーを定義する必要がありますか？

- A) ディスカバリ&戦略
- B) 実装
- C) 計画&構築
- D) 運営&改善

8 / 40

あるホスティングサービスのプロバイダは、全てのエンドツーエンドのサービスに影響を及ぼす再発するインシデントを経験しました。サービスインテグレーションのファシリテーションによって、他のサービスプロバイダから提供された情報を使い、そのホスティングサービスのプロバイダはその根本原因を恒久的に解決するイノベーションを開発しました。

誰が報酬を受けるべきですか？

- A) サービスインテグレーションと全てのサービスプロバイダ
- B) 全てのサービスプロバイダは含むがサービスインテグレーションは含まない
- C) ホスティングサービスのプロバイダのみ
- D) サービスインテグレーションのみ

9 / 40

どのSIAMロードマップのステージで、利用可能な技術とサービスについて認識されますか？

- A) ディスカバリ&戦略
- B) 実装
- C) 計画&構築
- D) 運営&改善

10 / 40

ある顧客組織は、SIAMモデルの実装を可能な限り短期間で完了したいと考えています。この組織はリスクを取る準備ができています。

これを達成するためにこの組織は何をするべきですか？

- A) サービスプロバイダの早期任命
- B) 組織的なチェンジマネジメントの実行
- C) ビッグバンアプローチの使用
- D) 段階的な実装の使用

11 / 40

SIAMモデルの要件の設計が含まれるSIAMロードマップの2つのステージとは何ですか？

回答を2つ選んでください。

- A) ディスカバリ&戦略
- B) 実装
- C) 計画&構築
- D) 運営&改善

12 / 40

どのSIAMロードマップのステージで、組織的なチェンジマネジメントを開始しますか？

- A) ディスカバリ&戦略
- B) 実装
- C) 計画&構築
- D) 運営&改善

13 / 40

どのSIAMロードマップのステージで、望ましいSIAM構造を選択しますか？

- A) ディスカバリ&戦略
- B) 実装
- C) 計画&構築
- D) 運営&改善

14 / 40

実装ステージを開始する2つのトリガーはどれですか？

回答を2つ選んでください。

- A) 既存のサービスプロバイダの取引中止
- B) 既存のサービスプロバイダの契約の終了
- C) 新しいSIAMモデルの実装
- D) 実装アプローチの選択

15 / 40

どのSIAMの役割が、一般的にサービスガバナンスと保証について説明責任がありますか？

- A) 顧客組織
- B) 統合変更諮問委員会 (Integrated CAB)
- C) サービスインテグレータ
- D) サービスプロバイダ

16 / 40

SIAMモデルの役割と責任のうち、何を外部調達するかを決定するのは誰ですか？

- A) 顧客組織
- B) 外部サービスプロバイダ
- C) 内部サービスプロバイダ
- D) サービスインテグレータ

17 / 40

契約管理の説明責任があるのはどの役割ですか？

- A) 顧客組織
- B) 執行委員会
- C) サービスインテグレータ
- D) 戦術委員会

18 / 40

単一の構造要素がカバーするのは何ですか？

- A) 1つの組織の1つのレイヤ
- B) 複数の組織の1つのレイヤ
- C) 1つの組織の複数のレイヤ
- D) 複数の組織の複数のレイヤ

19 / 40

どのオペレーショナルな役割が、重大なインシデントの解決から学んだ教訓を話し合うことに対して責任を持ちますか？

- A) インシデント管理フォーラム
- B) インシデント管理ワーキンググループ
- C) 統合変更諮問委員会 (Integrated CAB)
- D) 重大なインシデントワーキンググループ

20 / 40

ツール戦略を策定する技術プラクティスに関連した課題ではないのはどれですか？

- A) プロセスの活動間のギャップ
- B) 効果のないレガシーツール
- C) 非適合のサービスプロバイダ
- D) ツールセット範囲の定義

21 / 40

複数のクロスファンクショナルチームのマネジメントを行う際、コミュニケーション計画は何を提供しますか？

- A) すべてのステークホルダ間の定期的なコミュニケーションの適切なレベル
- B) バーチャルチーム間のフェイスツーフェイスのミーティングを必要としない
- C) データ再入力とデータ変換の必要性の減少

22 / 40

サービスプロバイダ横断でプロセスを統合する場合、プロセスフローのギャップを識別して回避するためにどれを使用すべきですか？

- A) DevOps
- B) 重要業績評価指標 (KPI)
- C) RACIマトリクス
- D) サービスレベルアグリーメント (SLA)

23 / 40

クロスファンクショナルチームに関連する主な課題はどれですか？

- A) 達成目標、組織戦略、作業プラクティスの対立
- B) プロセス活動間のギャップ
- C) エンドツーエンドのワークフローのマッピングが不能
- D) アーキテクチャの欠如

24 / 40

ツール戦略の策定に関連付けられたプラクティスは多数あります。

どのプラクティスが、サービスインテグレータとサービスプロバイダがSIAMツールセットを進化させる方法を理解するのに役立ちますか？

- A) 共通データディクショナリの採用
- B) 業界標準の方法
- C) データとツールセットのオーナーシップ
- D) 技術戦略とロードマップ

25 / 40

SIAM環境におけるエンドツーエンドの測定の例はどれですか？

- A) 特定のサービスインテグレーションパートナーによる問題解決の平均所要時間
- B) 内部サービスプロバイダと外部サービスプロバイダの比較
- C) 特定の事業部門によって起票されたインシデントの累計数
- D) サービスレベル目標に対するサービスの応答性

26 / 40

SIAMエコシステムのすべてのプロセスに共通する検討事項はどれですか？

- A) サービスプロバイダ横断で解決目標を整合させること
- B) プロセスがより複雑に見える
- C) データディクショナリ、用語、しきい値の要求事項

27 / 40

継続的なサービス改善プロセスの目的はどれですか？

- A) サービスプロバイダが継続的サービス改善に貢献するように奨励し、動機づけをすること
- B) 継続的サービス改善がSIAMガバナンス委員会の議題に含まれることを確実にすること
- C) 改善活動のデリバリの定量化、追跡、管理について一貫した方法を提供すること
- D) 学んだ教訓をSIAMエコシステムの中のすべての関係者で共有すること

28 / 40

トムはサービスプロバイダの問題解決マネージャです。

トムの問題管理プロセスの目的は何ですか？

- A) 複数のサービスプロバイダ横断で問題調査と解決活動をコーディネーションすること
- B) 問題解決のための共同作業に全ての関係者を参加させること
- C) インシデントと問題の発生または再発を防止すること
- D) 合意された時間枠内で優先度順にサービスを回復すること

29 / 40

システムとサービスの停止を早期に検出して回避できることを主な目的とするプロセスはどれですか？

- A) 変更およびリリース管理
- B) 継続的サービス改善
- C) イベント管理
- D) インシデント管理

30 / 40

SIAMエコシステムのすべてのプロセスに共通するSIAMの検討事項はどれですか？

- A) サービスプロバイダとサービス消費者との間に強い関係を構築して維持すること
- B) プロセスのオーナーシップと説明責任と実行責任のレベルを定義すること
- C) 改善活動のデリバリの定量化、追跡、管理について一貫した方法を提供すること
- D) プロジェクトを適切な品質レベルで期間内、予算内でデリバリするための構造化されたアプローチを提供すること

31 / 40

監視および測定プロセスにおけるSIAMの検討事項はどれですか？

- A) 一貫性のあるデータディクショナリ、データモデル、用語、しきい値、およびレポートスケジュールの要求事項
- B) 異なるサービスプロバイダからのサービス間の統合をテストする責任を定義するべきである
- C) イベントの診断と解決の目標は、サービスプロバイダ横断で共通にすべきである

32 / 40

インシデント管理プロセスにおけるSIAMの検討事項はどれですか？

- A) イベントしきい値の管理ルールを定義すること
- B) すべてのサービスプロバイダーがサービスを監視できることを確実にすること
- C) サービスパフォーマンスを低下させる、または低下させるかもしれないイベントを管理すること
- D) サービス回復に関わる関係者の数を最小限にすること

33 / 40

ビジネスケース作成の課題によって影響を受けるSIAMロードマップの初期ステージはどれですか？

- A) ディスカバリ&戦略
- B) 実装
- C) 計画&構築
- D) 運営&改善

34 / 40

どのSIAMレイヤは、SIAMの成功に関する測定の課題に影響を**受け**ないですか？

- A) 顧客組織
- B) サービスインテグレータ
- C) サービスプロバイダ

35 / 40

ある顧客組織が、サービスプロバイダの1つに非現実的なサービスレベルを設定しています。

この問題に直接関連するリスクはどれですか？

- A) サービス障害の責任を割当てするのが困難になる可能性がある。
- B) 顧客のデータがリスクにさらされる可能性がある。
- C) サービスインテグレータは自身の役割を果たせなくなる可能性がある。
- D) サービスプロバイダがエコシステムから撤退する可能性がある。

36 / 40

顧客組織は、データフローとエンドツーエンドサービスをマッピングできず、SIAMエコシステムのセキュリティの範囲を把握することができません。

この問題に直接関連するリスクはどれですか？

- A) サービスプロバイダが権限のないデータにアクセスする可能性がある。
- B) サービスプロバイダがサービス目標を達成できない可能性がある。
- C) SIAMの実装コストが計画よりも高くなる可能性がある。
- D) サービスインテグレータの作業負荷が増大する可能性がある。

37 / 40

SIAMエコシステムでは、サービスプロバイダは新しい働き方に適応する必要があります。

働き方に関連するカルチャ的な検討事項はどれですか？

- A) サービスプロバイダのための環境の構築が、契約と合意にフォーカスされていること
- B) サービスプロバイダは、サービスインテグレータが方向付け、意思決定、ガバナンスを行う自律性をもつことを受入れること
- C) サービスプロバイダが各自の特定のサービスレベルと達成目標を成し遂げることに重点を置くこと

38 / 40

顧客組織によって保持されるコントロールレベルとオーナーシップのレベルを定義することは重要です。

これを決定しないでおくリスクはどれですか？

- A) サービス障害の責任を割当てるのが課題になる。
- B) サービスプロバイダがコラボレーションに反抗的になる可能性がある。
- C) サービスインテグレータは自身の役割を果たせなくなる可能性がある。
- D) SIAMプログラムの成功が測定できなくなる。

39 / 40

ITILプロセスとSIAMはどのように関連しますか？

- A) ITILプロセスの成果は、SIAMプロセスの成果と異なっており、他の洞察を提供する。
- B) ITILプロセスはSIAMエコシステムで何の適応もせずそのまま使うことができる。
- C) SIAMはITILのサービスマネジメント要素に基づいて構築され、それらを拡張する。
- D) SIAMはITILに代わるものであり、そのためどのITILプロセスも使用しない。

40 / 40

コラボレーションカルチャの作成と共有に重点を置いている手法は何ですか？

- A) DevOps
- B) ISO/IEC 20000
- C) ITIL
- D) リーン

解答集

1 / 40

SIAMから多くの価値を得ることが**あまりできない**組織は何ですか？

- A) 複数の内部サービスプロバイダと外部サービスプロバイダが混在する環境
 - B) 単一のサービスプロバイダのみが存在する環境
 - C) 複数の外部サービスプロバイダのみが存在する環境
 - D) 複数の内部サービスプロバイダのみが存在する環境
- A) 不正解。複数のサービスプロバイダを管理したいと考えている組織はSIAM適用によって多くの価値を得ることができます。
- B) 正解。単一のサービスプロバイダしか使用しない組織が、SIAMから多くの価値を得る可能性は低いと考えられます。（参考文献：A、1.1章）
- C) 不正解。複数の外部サービスプロバイダが存在する組織はSIAMに適しています。
- D) 不正解。複数の内部サービスプロバイダが存在する組織はSIAMに適しています。

2 / 40

どのSIAMの推進力グループが、データと情報標準の推進力を含んでいますか？

- A) 外部推進力
 - B) オペレーショナル効率
 - C) サービスとソーシングの状況
 - D) サービス満足度
- A) 不正解。外部要因に関連する推進力は、コーポレートガバナンスと外部ポリシーです。
- B) 正解。これは、オペレーショナル効率推進力グループに含まれる4つの推進力の1つです。（参考文献：A、1.5.2.3章）
- C) 不正解。サービスとソーシングの状況推進力グループに含まれる推進力は、外部ソーシング、シャドウIT、マルチソーシング、サービスプロバイダ数の増加、柔軟性の低い契約です。
- D) 不正解。これは、このグループに含まれる推進力ではありません。サービス満足度推進力グループに含まれる推進力には、サービスパフォーマンス、サービスプロバイダの相互作用、明確な役割と責任、変更のペースが遅い、価値の実証、サービスプロバイダ間におけるコラボレーションの欠如、デリバリのサイロなどがあります。

3 / 40

SIAMエコシステムにおけるサービスプロバイダの責任は何ですか？

- A) デリバリ
- B) エンドツーエンドのインテグレーション
- C) ガバナンス
- D) 戦略

- A) 正解。各サービスプロバイダは、顧客に対して1つ以上のサービス、またはサービス要素のデリバリの責任を負います。契約または合意されたサービスを提供するために使用される製品と技術を管理し、自身のプロセスを運用する責任があります。（参考文献：A、1.1.1.4章）
- B) 不正解。エンドツーエンドのインテグレーションは、サービスインテグレータの責任です。
- C) 不正解。ガバナンスは顧客組織とサービスインテグレータの責任です。
- D) 不正解。戦略は顧客組織の責任です。

4 / 40

どのSIAMエコシステムのレイヤが、エンドツーエンドの保証を行いますか？

- A) 顧客組織
- B) リテインド能力（ケイパビリティ）
- C) サービスインテグレータ
- D) サービスプロバイダ

- A) 不正解。顧客組織は、オペレーティングモデルの一部としてSIAMへの移行を行っている最終クライアントです。顧客組織はSIAMエコシステムに委託を行います。
- B) 不正解。リテインド能力（ケイパビリティ）は、戦略、アーキテクチャ、ビジネスエンゲージメントおよびコーポレートガバナンス活動に責任を持つ機能です。
- C) 正解。エンドツーエンドのサービスのガバナンス、マネジメント、インテグレーション、保証およびコーディネーションは、SIAMエコシステムのサービスインテグレータレイヤで実施されます。（参考文献：A、1.1.1.3章）
- D) 不正解。各サービスプロバイダは、顧客に対して1つ以上のサービス、またはサービス要素のデリバリの責任を負います。

5 / 40

ある組織がSIAMへの移行を希望しています。この組織は、サービスプロバイダがサービスインテグレータに対する偏見を持ち非難するのを避けたいと考えています。

偏見を持ち非難するビヘイビアの可能性が最も低い2つの構造は何ですか？

回答を2つ選んでください。

- A) 外部サービスインテグレータ
- B) ハイブリッドサービスインテグレータ
- C) 内部サービスインテグレータ
- D) リードサプライヤサービスインテグレータ

- A) 不正解。サービスインテグレータおよびサービスプロバイダとして活動する組織は、場合によっては他のサービスプロバイダの競合となるため、偏見を受ける可能性があります。
- B) 正解。ハイブリッドサービスインテグレータソリューションでは、外部サービスインテグレータは顧客組織と一緒に働きます。顧客組織が偏見を持たれ非難される可能性は非常に低いと考えられます。したがって、移行を希望する組織にとっては、これら2つの構造が最善の選択肢となります。（参考文献：A、3.2章および3.3章）
- C) 正解。内部サービスインテグレータソリューションでは、サービスインテグレータは顧客組織です。顧客組織が偏見を持たれ非難される可能性は非常に低いと考えられます。したがって、移行を希望する組織にとっては、これら2つの構造が最善の選択肢となります。（参考文献：A、3.2章および3.3章）
- D) 不正解。サービスインテグレータおよびサービスプロバイダとして活動する組織は、場合によっては他のサービスプロバイダの競合となるため、偏見を受ける可能性があります。

6 / 40

ハイブリッドサービスインテグレータ構造で、コラボレーションしてサービスインテグレータのケイパビリティ（能力）を提供するのはどの組み合わせですか？

- A) 顧客組織と外部組織
- B) 顧客組織と内部サービスインテグレータ
- C) 外部サービスインテグレータとリードサプライヤ
- D) 内部サービスインテグレータとリテインド能力（ケイパビリティ）

- A) 正解。ハイブリッドサービスインテグレータ構造で、顧客組織は外部組織とコラボレーションして、サービスインテグレータの役割を担い、サービスインテグレータのケイパビリティ（能力）を提供します。（参考文献：A、3.3章）
- B) 不正解。顧客組織と内部サービスインテグレータはSIAMエコシステムの2つの分離したレイヤです。
- C) 不正解。リードサプライヤはハイブリッドとは異なる構造です。
- D) 不正解。内部サービスインテグレータとリテインド能力（ケイパビリティ）はSIAMエコシステムの2つの分離したレイヤです。リテインド能力（ケイパビリティ）は顧客組織の一部です。

7 / 40

どのSIAMロードマップのステージが、役割と責任に関する原則とポリシーを定義する必要がありますか？

- A) ディスカバリ&戦略
- B) 実装
- C) 計画&構築
- D) 運営&改善

- A) 正解。これは、ディスカバリ&戦略ステージにおける活動の1つです。（参考文献：A、2.1.4章）
- B) 不正解。役割と責任に関する原則とポリシーはこのステージで実装されますが、定義されるのはディスカバリ&戦略ステージです。
- C) 不正解。詳細化された役割と責任はこのステージで定義されますが、ベースとなるのはディスカバリ&戦略ステージで定義された原則とポリシーです。
- D) 不正解。役割と責任に関する原則とポリシーはこのステージで改善されますが、定義されるのはディスカバリ&戦略ステージです。

8 / 40

あるホスティングサービスのプロバイダは、全てのエンドツーエンドのサービスに影響を及ぼす再発するインシデントを経験しました。サービスインテグレータのファシリテーションによって、他のサービスプロバイダから提供された情報を使い、そのホスティングサービスのプロバイダはその根本原因を恒久的に解決するイノベーションを開発しました。

誰が報酬を受けるべきですか？

- A) サービスインテグレータと全てのサービスプロバイダ
- B) 全てのサービスプロバイダは含むがサービスインテグレータは含まない
- C) ホスティングサービスのプロバイダのみ
- D) サービスインテグレータのみ

- A) 正解。サービスプロバイダに対しては、自らの利害を保護するのではなくコラボレーションするよう奨励されなければなりません。コラボレーションとコミュニケーションを奨励するために、報酬メカニズムを使用できます。グッドプラクティスには、SIAMモデルの1つのレイヤだけでなくすべてのステークホルダに報酬を与えることが含まれます。（参考文献：A、2.4.4.5章）
- B) 不正解。関与したサービスインテグレータに対して報酬を与える必要があります。
- C) 不正解。他のサービスプロバイダが情報を提供し、サービスインテグレータがファシリテーションしました。したがって、これらの当事者にも報酬を与える必要があります。
- D) 不正解。サービスプロバイダが情報を提供し、これに対して報酬を与える必要があります。

9 / 40

どのSIAMロードマップのステージで、利用可能な技術とサービスについて認識されますか？

- A) ディスカバリ&戦略
- B) 実装
- C) 計画&構築
- D) 運営&改善

- A) 正解。市場の理解は、ディスカバリ&戦略ステージにおける活動です。この活動の一環として、戦略目標に対して使用可能な技術とサービスを検討すべきです。（参考文献：A、2.1.4.7章）
- B) 不正解。市場の理解は、実装ステージよりも前のディスカバリ&戦略ステージで行われるべきです。
- C) 不正解。市場の理解は、計画&構築ステージよりも前のディスカバリ&戦略ステージで行われるべきです。
- D) 不正解。市場の理解は、ディスカバリ&戦略ステージで行われるべきです。

10 / 40

ある顧客組織は、SIAMモデルの実装を可能な限り短期間で完了したいと考えています。この組織はリスクを取る準備ができています。

これを達成するためにこの組織は何をするべきですか？

- A) サービスプロバイダの早期任命
- B) 組織的なチェンジマネジメントの実行
- C) ビッグバンアプローチの使用
- D) 段階的な実装の使用

- A) 不正解。これは、SIAMロードマップの計画&構築ステージで実行されます。この組織は、すでに実装ステージに達しています。
- B) 不正解。組織的なチェンジマネジメントは、ステークホルダは変更に対応するためのものです。それは、この組織がニーズを満たすために必要とするものではありません。
- C) 正解。ビッグバンの実装は、すべてを一度に導入するアプローチです。リスクが高くなる可能性があります。組織がリスクを取る準備ができていますので、最善の選択肢となります。（参考文献：A、2.3.4.1.1章）
- D) 不正解。段階的アプローチをとると、実装の合計所要期間は長くなります。

11 / 40

SIAMモデルの要件の設計が含まれるSIAMロードマップの2つのステージとは何ですか？

回答を2つ選んでください。

- A) ディスカバリ&戦略
- B) 実装
- C) 計画&構築
- D) 運営&改善

- A) 正解。ハイレベルな要件は、第1ステージで定義されます。これらは、第2ステージでより詳細に定義されます（参考文献：A、2章）
- B) 不正解。実装ステージでは、要件が実装されます。SIAMモデルの運営と継続的改善が行われるのは、第4ステージです。
- C) 正解。ハイレベルな要件は、第1ステージで定義されます。これらは、第2ステージでより詳細に定義されます（参考文献：A、2章）
- D) 不正解。実装ステージでは、要件が実装されます。SIAMモデルの運営と継続的改善が行われるのは、第4ステージです。

12 / 40

どのSIAMロードマップのステージで、組織的なチェンジマネジメントを開始しますか？

- A) ディスカバリ&戦略
- B) 実装
- C) 計画&構築
- D) 運営&改善

- A) 不正解。組織的なチェンジマネジメントは、SIAMロードマップの計画&構築ステージまで開始しません。
- B) 不正解。組織的なチェンジマネジメントは、ロードマップの計画&構築ステージで開始されます。これは、実装ステージとさらに次のステージまで継続します。
- C) 正解。組織的なチェンジマネジメントの開始は、SIAMロードマップの計画&構築ステージの達成目標、活動、アウトプットです。（参考文献：A、2.2.1章、2.2.4章および2.2.5章）
- D) 不正解。組織的なチェンジマネジメントは、ロードマップの計画&構築ステージで開始されます。これは、実装ステージと運営&改善ステージまで継続します。

13 / 40

どのSIAMロードマップのステージで、望ましいSIAM構造を選択しますか？

- A) ディスカバリ&戦略
- B) 実装
- C) 計画&構築
- D) 運営&改善

- A) 不正解。ディスカバリ&戦略ステージでSIAM戦略定義の明確化の一部として構造を提案する可能性はありますが、計画&構築ステージまでは選択されません。
- B) 不正解。構造は、実装ステージの開始よりも前の計画&構築ステージで選択する必要があります。
- C) 正解。計画&構築ステージで、それまでに収集されたすべての情報を使用して望ましいSIAM構造を選択すべきです。(参考文献:A、2.2.4.1.2章)
- D) 不正解。構造は、実装ステージの開始よりも前の計画&構築ステージで選択する必要があります。

14 / 40

実装ステージを開始する2つのトリガーはどれですか？

回答を2つ選んでください。

- A) 既存のサービスプロバイダの取引中止
- B) 既存のサービスプロバイダの契約の終了
- C) 新しいSIAMモデルの実装
- D) 実装アプローチの選択

- A) 正解。既存のサービスプロバイダの取引中止は、実装ステージを開始するトリガーとなります。(参考文献:A、2.3.2章)
- B) 正解。既存のサービスプロバイダの契約の終了は、実装ステージを開始するトリガーとなります。(参考文献:A、2.3.2章)
- C) 不正解。新しいSIAMモデルの実装は、実装ステージにおける活動であり、運営&改善ステージを開始するトリガーとなります。
- D) 不正解。実装アプローチの選択は、実装ステージにおける活動です。

15 / 40

どのSIAMの役割が、一般的にサービスガバナンスと保証について説明責任がありますか？

- A) 顧客組織
 - B) 統合変更諮問委員会 (Integrated CAB)
 - C) サービスインテグレータ
 - D) サービスプロバイダ
- A) 不正解。顧客には、サービスガバナンスと保証についての説明責任はありません。これはサービスインテグレータの責任です。
- B) 不正解。統合変更諮問委員会 (Integrated CAB) は、変更の保証に関連する責任を負いますが、サービスのガバナンスと保証の責任を負いません。
- C) 正解。サービスガバナンスと保証は、サービスインテグレータが負う重要な説明責任の1つです。
(参考文献: A、5.4章および5.1.3章)
- D) 不正解。SIAMエコシステムでは、サービスプロバイダにはサービスガバナンスと保証についての説明責任はありません。

16 / 40

SIAMモデルの役割と責任のうち、何を外部調達するかを決定するのは誰ですか？

- A) 顧客組織
 - B) 外部サービスプロバイダ
 - C) 内部サービスプロバイダ
 - D) サービスインテグレータ
- A) 正解。顧客組織は、外部サービスインテグレータから助言を受けることができます。しかし、意思決定を担うのは、成果について説明責任を持つ顧客組織です。(参考文献: A、5.1.1章)
- B) 不正解。外部サービスプロバイダはこの決定を行いません。
- C) 不正解。内部サービスプロバイダはこの決定を行いません。
- D) 不正解。サービスインテグレータは顧客に助言することもあります。決定を行うのは顧客組織です。

17 / 40

契約管理の説明責任があるのはどの役割ですか？

- A) 顧客組織
- B) 執行委員会
- C) サービスインテグレータ
- D) 戦術委員会

- A) 正解。顧客組織は、外部組織との契約を締結することから、契約管理に対して説明責任を負います。
(参考文献：A、5.3章)
- B) 不正解。執行委員会は契約の管理に関わる課題を議論することはありますが、契約管理に対する説明責任はありません。
- C) 不正解。サービスインテグレータは顧客組織から委譲された契約管理のタスク実行について責任を負うことがありますが、外部組織との契約を締結するのは顧客組織であるため、契約管理に対して説明責任があるのは常に顧客組織です。
- D) 不正解。戦術委員会は契約の管理に関わる課題を議論することはありますが、契約管理に対する説明責任はありません。

18 / 40

単一の構造要素がカバーするのは何ですか？

- A) 1つの組織の1つのレイヤ
- B) 複数の組織の1つのレイヤ
- C) 1つの組織の複数のレイヤ
- D) 複数の組織の複数のレイヤ

- A) 不正解。構造要素は、SIAMエコシステムの3つのレイヤすべてにわたることがあります。これらは、いくつかのサービスプロバイダのように、いくつかの組織をカバーすることもあります。
- B) 不正解。構造要素は、SIAMエコシステムの3つのレイヤすべてにわたることがあります。
- C) 不正解。これらは、いくつかのサービスプロバイダのように、いくつかの組織をカバーすることがあります。
- D) 正解。構造要素は、SIAMエコシステムで特定の責任を負って複数の組織およびレイヤにわたって活動する組織的な実体です。(参考文献：A、1.1.6章)

19 / 40

どのオペレーショナルな役割が、重大なインシデントの解決から学んだ教訓を話し合うことに対して責任を持ちますか？

- A) インシデント管理フォーラム
- B) インシデント管理ワーキンググループ
- C) 統合変更諮問委員会 (Integrated CAB)
- D) 重大なインシデントワーキンググループ

- A) 正解。インシデント管理フォーラムは、継続的改善の一環として学んだ教訓について話し合います。
(参考文献：A、5.7.3章および1.1.6.2章)
- B) 不正解。すべてのワーキンググループは、特定の課題に取り組むために招集されます。フォーラムは改善作業を行います。
- C) 不正解。統合変更諮問委員会はオペレーショナルなガバナンス委員会であり、オペレーショナルな役割ではありません。
- D) 不正解。ワーキンググループはすべて、特定の課題に対処するために招集されます。フォーラムは改善作業を行います。

20 / 40

ツール戦略を策定する技術プラクティスに関連した課題ではないのはどれですか？

- A) プロセスの活動間のギャップ
- B) 効果のないレガシーツール
- C) 非適合のサービスプロバイダ
- D) ツールセット範囲の定義

- A) 正解。これは、ツール戦略の策定に関連した課題ではありません。これは、サービスプロバイダ横断でのプロセス統合に関連した課題の1つです。課題は、効果のないレガシーツール、ツールセット範囲の定義、非適合のサービスプロバイダ、アーキテクチャの欠如です。(参考文献：A、6.4.1章)
- B) 不正解。これは、ツール戦略の策定に関連した課題の1つです。
- C) 不正解。これは、ツール戦略の策定に関連した課題の1つです。
- D) 不正解。これは、ツール戦略の策定に関連した課題の1つです。

21 / 40

複数のクロスファンクショナルチームのマネジメントを行う際、コミュニケーション計画は何を提供しますか？

- A) すべてのステークホルダ間の定期的なコミュニケーションの適切なレベル
- B) バーチャルチーム間のフェイスツーフェイスのミーティングを必要としない
- C) データ再入力とデータ変換の必要性の減少

- A) 正解。コミュニケーション計画は、ミーティングや報告レベルなど、すべてのステークホルダ間における適正レベルの定期的コミュニケーションを確保する上で重要です。（参考文献：A、6.1.2.4章）
- B) 不正解。バーチャルチームはチームメンバー同士の関係を構築する必要があります。メンバー間で定期的に直接顔を合わせる機会がない場合は関係構築が難しいかもしれません。少なくとも一度は顔を合わせる機会を設けて、チームメンバー同士がお互いに知り合い、信頼を育てて良い作業関係を作れるようにすることを推奨します。
- C) 不正解。これはツールセット統合プラクティスのベネフィットです。

22 / 40

サービスプロバイダ横断でプロセスを統合する場合、プロセスフローのギャップを識別して回避するためにどれを使用すべきですか？

- A) DevOps
- B) 重要業績評価指標（KPI）
- C) RACIマトリクス
- D) サービスレベルアグリーメント（SLA）

- A) 不正解。DevOpsは支援プラクティスですが、プロセスまたは機能のデリバリのすべての関係者を識別するのには使われません。
- B) 不正解。KPIは、パフォーマンス測定に使用される測定基準です。KPIは、サービス、プロセス、ビジネス目標について定義されます。
- C) 正解。このようなギャップの識別と回避には、プロセスフローとRACIマトリクスの開発と合意が役立ちます。（参考文献：A、6.2.1.2章および2.2.4.1.3章）
- D) 不正解。SLAは、プロセスフローでのギャップの識別に使用されるものではありません。

23 / 40

クロスファンクショナルチームに関連する主な課題はどれですか？

- A) 達成目標、組織戦略、作業プラクティスの対立
- B) プロセス活動間のギャップ
- C) エンドツーエンドのワークフローのマッピングが不能
- D) アーキテクチャの欠如

- A) 正解。達成目標、組織戦略、作業プラクティスの対立は、クロスファンクショナルチームに関連する主要課題の1つです。（参考文献：A、6.1.1章）
- B) 不正解。これは、サービスプロバイダ間でのプロセス統合に関連した課題です。
- C) 不正解。これは、エンドツーエンドのサービスの実現と報告に関連付けられた課題です。
- D) 不正解。これは、ツール戦略策定に関連付けられた課題です。

24 / 40

ツール戦略の策定に関連付けられたプラクティスは多数あります。

どのプラクティスが、サービスインテグレータとサービスプロバイダがSIAMツールセットを進化させる方法を理解するのに役立ちますか？

- A) 共通データディクショナリの採用
- B) 業界標準の方法
- C) データとツールセットのオーナーシップ
- D) 技術戦略とロードマップ

- A) 不正解。このプラクティスによって、インシデントの優先度や重大度の分類について一貫性を保ち、共通認識ができるなどのいくつかのベネフィットはありますが、このプラクティスはSIAMツールセットを進化させる方法を理解する助けにはなりません。
- B) 不正解。業界標準の統合方法を使うことによって、サービスプロバイダは独自のツールと統合されたSIAMツールセット間で情報を共有しやすくなりますが、このプラクティスはSIAMツールセットを進化させる方法を理解する助けにはなりません。
- C) 不正解。ツール戦略は、誰がツールセットやツールセットの中のデータを所有するかを明確にする必要がありますが、このプラクティスはSIAMツールセットを進化させる方法を理解する助けにはなりません。
- D) 正解。顧客組織は、サービスインテグレータとサービスプロバイダがSIAMツールセットの統合と進化を理解できるように支援するため、技術戦略とロードマップについて概要を示す必要があります。（参考文献：A、6.4.2章）

25 / 40

SIAM環境におけるエンドツーエンドの測定の例はどれですか？

- A) 特定のサービスインテグレーションパートナーによる問題解決の平均所要時間
 - B) 内部サービスプロバイダと外部サービスプロバイダの比較
 - C) 特定の事業部門によって起票されたインシデントの累計数
 - D) サービスレベル目標に対するサービスの応答性
- A) 不正解。特定のサービスインテグレーションパートナーによる問題解決の平均所要時間は、SIAM環境におけるエンドツーエンドの測定の例ではありません。エンドツーエンドの測定はサービス全体について行うものであり、特定のコンポーネントやプロバイダに対するものではありません。
- B) 不正解。内部サービスプロバイダと外部サービスプロバイダの比較は、SIAM環境におけるエンドツーエンドの測定の例ではありません。エンドツーエンドの測定はサービスについて行うものであり、プロバイダのパフォーマンスに対するものではありません。
- C) 不正解。特定の事業部門によって起票されたインシデントの累計数は、SIAM環境におけるエンドツーエンドの測定の例ではありません。サービスに対するインシデントの影響はエンドツーエンドの測定になり得ますが、インシデントの数自体はビジネス目標に対するサービス提供を反映していないため、エンドツーエンドの測定の例ではありません。
- D) 正解。定義された目標に対するサービスの応答性は、SIAM環境におけるエンドツーエンドの測定の一例です。（参考文献：A、6.3章）

26 / 40

SIAMエコシステムのすべてのプロセスに共通する検討事項はどれですか？

- A) サービスプロバイダ横断で解決目標を整合させること
 - B) プロセスがより複雑に見える
 - C) データディクショナリ、用語、しきい値の要求事項
- A) 不正解。これは問題管理に関するSIAMの検討事項です。
- B) 正解。これは、SIAMエコシステムのすべてのプロセスに共通する、SIAMの有効な検討事項の1つです。（参考文献：B、3章）
- C) 不正解。これは監視と測定に関するSIAMの検討事項です。

27 / 40

継続的なサービス改善プロセスの目的はどれですか？

- A) サービスプロバイダが継続的サービス改善に貢献するように奨励し、動機づけをすること
 - B) 継続的サービス改善がSIAMガバナンス委員会の議題に含まれることを確実にすること
 - C) 改善活動のデリバリの定量化、追跡、管理について一貫した方法を提供すること
 - D) 学んだ教訓をSIAMエコシステムの中でのすべての関係者で共有すること
- A) 不正解。これは継続的サービス改善プロセスのSIAMの検討事項の1つです。
- B) 不正解。これは継続的サービス改善プロセスのSIAMの検討事項の1つです。
- C) 正解。これは、継続的なサービス改善プロセスの目的です。（参考文献：B、18.1章）
- D) 不正解。これは継続的サービス改善プロセスのSIAMの検討事項の1つです。

28 / 40

トムはサービスプロバイダの問題解決マネージャです。

トムの問題管理プロセスの目的は何ですか？

- A) 複数のサービスプロバイダ横断で問題調査と解決活動をコーディネーションすること
 - B) 問題解決のための共同作業に全ての関係者を参加させること
 - C) インシデントと問題の発生または再発を防止すること
 - D) 合意された時間枠内で優先度順にサービスを回復すること
- A) 不正解。これは問題管理プロセスの検討事項であり、目的ではありません。また、これはサービスインテグレータの責任です。
- B) 不正解。これは問題管理プロセスの検討事項であり、目的ではありません。また、これはサービスインテグレータの責任です。
- C) 正解。問題管理プロセスでは、インシデントを引き起こす未知の原因として定義される問題のライフサイクルの管理に責任があります。また、インシデントおよび問題の発生または再発の防止の責任もあります。（参考文献：B、9.1章）
- D) 不正解。これはインシデント管理プロセスの目的です。

29 / 40

システムとサービスの停止を早期に検出して回避できることを主な目的とするプロセスはどれですか？

- A) 変更およびリリース管理
 - B) 継続的サービス改善
 - C) イベント管理
 - D) インシデント管理
- A) 不正解。変更管理によって最小限の中断でサービス変更を実現することができます。
- B) 不正解。継続的サービス改善の目的は、エコシステムの横断的な改善活動のデリバリの定量化、追跡、管理について一貫した方法を提供することです。
- C) 正解。これはイベント管理の目的の1つです。（参考文献：B、6.1章）
- D) 不正解。インシデント管理はサービスの回復を目指します。それは、サービスの課題の記録と管理も行います。インシデント管理はサービス停止の予防を目指すものではありません。

30 / 40

SIAMエコシステムのすべてのプロセスに共通するSIAMの検討事項はどれですか？

- A) サービスプロバイダとサービス消費者との間に強い関係を構築して維持すること
 - B) プロセスのオーナーシップと説明責任と実行責任のレベルを定義すること
 - C) 改善活動のデリバリの定量化、追跡、管理について一貫した方法を提供すること
 - D) プロジェクトを適切な品質レベルで期間内、予算内でデリバリするための構造化されたアプローチを提供すること
- A) 不正解。これは事業関係管理プロセスの目的であり、SIAMエコシステムの全プロセス共通の検討事項ではありません。
 - B) 正解。これは、SIAMエコシステムのすべてのプロセスに共通する正しい考慮事項の1つです。（参考文献：B、3章）
 - C) 不正解。これは継続的サービス改善プロセスの目的であり、SIAMエコシステムの全プロセス共通の検討事項ではありません。
 - D) 不正解。これはプロジェクトマネジメントプロセスの目的であり、SIAMエコシステムの全プロセス共通の検討事項ではありません。

31 / 40

監視および測定プロセスにおけるSIAMの検討事項はどれですか？

- A) 一貫性のあるデータディクショナリ、データモデル、用語、しきい値、およびレポートスケジュールの要求事項
 - B) 異なるサービスプロバイダからのサービス間の統合をテストする責任を定義するべきである
 - C) イベントの診断と解決の目標は、サービスプロバイダ横断で共通にすべきである
- A) 正解。これは、監視および測定プロセスに関するSIAMの検討事項の1つです。（参考文献：B、5.2章）
 - B) 不正解。これは、リリース管理プロセスに関するSIAMの検討事項の1つです。
 - C) 不正解。これは、イベント管理プロセスに関するSIAMの検討事項の1つです。

32 / 40

インシデント管理プロセスにおけるSIAMの検討事項はどれですか？

- A) イベントしきい値の管理ルールを定義すること
 - B) すべてのサービスプロバイダーがサービスを監視できることを確実にすること
 - C) サービスパフォーマンスを低下させる、または低下させるかもしれないイベントを管理すること
 - D) サービス回復に関わる関係者の数を最小限にすること
- A) 不正解。これはイベント管理でのSIAMの検討事項です。
 - B) 不正解。これは監視と測定プロセスでのSIAMの検討事項です。
 - C) 不正解。これはイベント管理プロセスでのSIAMの検討事項です。
 - D) 正解。これは、インシデント管理プロセスに関するSIAMの検討事項の1つです。（参考文献：B、8.2章）

33 / 40

ビジネスケース作成の課題によって影響を受けるSIAMロードマップの初期ステージはどれですか？

- A) ディスカバリ&戦略
- B) 実装
- C) 計画&構築
- D) 運営&改善

- A) 正解。この課題は、SIAMロードマップの初期のディスカバリ&戦略ステージで始まります。（参考文献：A、8.1.2章）
- B) 不正解。ビジネスケースは、期待したベネフィットが実現しているかどうかを検証するために実装ステージおよび運営&改善ステージでも使用しますが、これは初期ステージではありません。
- C) 不正解。計画&構築ステージの最後に、すべての調達を許可し、残りのステージにリソースを割当てるために役員の支持が必要となりますが、これは初期ステージではありません。
- D) 不正解。ビジネスケースは、期待したベネフィットが実現しているかどうかを検証するために実装ステージおよび運営&改善ステージでも使用しますが、これは初期ステージではありません。

34 / 40

どのSIAMレイヤは、SIAMの成功に関する測定の課題に影響を受けないですか？

- A) 顧客組織
- B) サービスインテグレータ
- C) サービスプロバイダ

- A) 不正解。顧客はこの課題に影響を受けます。
- B) 不正解。サービスインテグレータはこの課題に影響を受けます。
- C) 正解。この課題は、顧客がSIAMの価値の提供とサービスの実行の妥当性確認ができない場合に、顧客に影響します。また、エンドツーエンドの報告を構築するタスクを担うサービスインテグレータにも影響します。（参考文献：A、8.6.1章）

35 / 40

ある顧客組織が、サービスプロバイダの1つに非現実的なサービスレベルを設定しています。

この問題に直接関連するリスクはどれですか？

- A) サービス障害の責任を割当てするのが困難になる可能性がある。
- B) 顧客のデータがリスクにさらされる可能性がある。
- C) サービスインテグレータは自身の役割を果たせなくなる可能性がある。
- D) サービスプロバイダがエコシステムから撤退する可能性がある。

- A) 不正解。これは別の商業的リスクです。
- B) 不正解。これはコントロールレベルとオーナーシップに関連したリスクです。
- C) 不正解。これはカルチャ適合に関連したリスクです。
- D) 正解。非現実的な目標とサービスレベルを設定されたサービスプロバイダは、エコシステムから撤退する可能性があります。（参考文献：A、8.3.3章）

36 / 40

顧客組織は、データフローとエンドツーエンドサービスをマッピングできず、SIAMエコシステムのセキュリティの範囲を把握することができません。

この問題に直接関連するリスクはどれですか？

- A) サービスプロバイダが権限のないデータにアクセスする可能性がある。
- B) サービスプロバイダがサービス目標を達成できない可能性がある。
- C) SIAMの実装コストが計画よりも高くなる可能性がある。
- D) サービスインテグレータの作業負荷が増大する可能性がある。

A) 正解。顧客組織は、エコシステム内のデータと情報がどのようなものであり、どこに存在し、どのように管理および保護されるかを明確化する必要があります。特に、サービスプロバイダにとって商業的に慎重に扱うべきであり、他のサービスプロバイダに認識されるべきではないデータに関連しては、効果のないデータ分離が関連するリスクとなります。（参考文献：A、8.4.3章）

- B) 不正解。これは商業上の課題に関連したリスクです。
- C) 不正解。これはビジネスケース作成に関連したリスクです。
- D) 不正解。これはレガシー契約に関連したリスクです。

37 / 40

SIAMエコシステムでは、サービスプロバイダは新しい働き方に適応する必要があります。

働き方に関連するカルチャ的な検討事項はどれですか？

- A) サービスプロバイダのための環境の構築が、契約と合意にフォーカスされていること
- B) サービスプロバイダは、サービスインテグレータが方向付け、意思決定、ガバナンスを行う自律性をもつことを受入れること
- C) サービスプロバイダが各自の特定のサービスレベルと達成目標を成し遂げることに重点を置くこと

A) 不正解。関連する正しい検討事項は、個別のサービスプロバイダの契約と合意を重視する環境ではなく、ビジネス成果と顧客を重視する環境を構築することです。

B) 正解。サービスプロバイダは、サービスインテグレータが顧客を代弁し、阻害されずに方向付け、意思決定、ガバナンスを行う自律性をもつことを受入れなければなりません。（参考文献：A、7.2.1章）

C) 不正解。SIAMエコシステムで重視するのは、特定の個別組織のサービスレベルや達成目標を成し遂げるよりも、関係性、特にクロスプロバイダの関係性や、ガバナンスコントロール、共通目標の追及です。

38 / 40

顧客組織によって保持されるコントロールレベルとオーナーシップのレベルを定義することは重要です。

これを決定しないでおくリスクはどれですか？

- A) サービス障害の責任を割当てるのが課題になる。
 - B) サービスプロバイダがコラボレーションに反抗的になる可能性がある。
 - C) サービスインテグレータは自身の役割を果たせなくなる可能性がある。
 - D) SIAMプログラムの成功が測定できなくなる。
- A) 不正解。これは商業的な課題のみならずリスクです。
- B) 不正解。これはカルチャとコラボレーションに関する課題のみならずリスクです。
- C) 正解。この課題が解決されない場合、実行責任と説明責任が不明確なため、SIAMモデルの定義、およびサービスインテグレータとサービスプロバイダの役割の遂行がより困難になります。顧客がサービスの活動とプロセスのオーナーシップを放棄する準備ができていない場合、サービスインテグレータがその役割を果たせなくなるため、予想されるSIAMのベネフィットが実現されない可能性があります。顧客がすべてのコントロールと説明責任を放棄すると、サービスインテグレータは十分な戦略的方向性を持つことができず、役割を果たせなくなる可能性があります。（参考文献：A、8.2.1章）
- D) 不正解。これはビジネスケース作成の課題のみならずリスクです。

39 / 40

ITILプロセスとSIAMはどのように関連しますか？

- A) ITILプロセスの成果は、SIAMプロセスの成果と異なっており、他の洞察を提供する。
 - B) ITILプロセスはSIAMエコシステムで何の適応もせずそのまま使うことができる。
 - C) SIAMはITILのサービスマネジメント要素に基づいて構築され、それらを拡張する。
 - D) SIAMはITILに代わるものであり、そのためどのITILプロセスも使用しない。
- A) 不正解。SIAMプロセスのほとんどでITILプロセスと同じ成果があります。
- B) 不正解。複数のサプライヤから構成されるエコシステムに合わせるためにプロセスを適応させる必要があります。
- C) 正解。SIAMはITILに代わるものでなく、サービスマネジメントの要素を基礎として使用してエコシステム全体に拡張し、そこで要素がSIAMモデルとの関連性を持ちます。（参考文献：A、4.1.1.1章）
- D) 不正解。SIAMはITILに代わるものでなく、ITILを基礎として使います。

40 / 40

コラボレーションカルチャの作成と共有に重点を置いている手法は何ですか？

- A) DevOps
- B) ISO/IEC 20000
- C) ITIL
- D) リーン

- A) 正解。コラボレーションカルチャの作成は、DevOpsの重要な特徴の1つです。（参考文献：A、4.4.1章）
- B) 不正解。ISO/IECは、ITサービスマネジメントの標準の1つです。その重点は、コラボレーションカルチャの作成ではありません。
- C) 不正解。ITIL が主に重視するものはプロセスであり、コラボレーションするカルチャを作り出すことではありません。
- D) 不正解。リーンの重点は、プロセスの最適化と無駄の排除であり、コラボレーションカルチャの開発と共有ではありません。

評価

次の表に、本模擬試験問題の正解を示します。

番号	正解	番号	正解
1	B	21	A
2	B	22	C
3	A	23	A
4	C	24	D
5	B & C	25	D
6	A	26	B
7	A	27	C
8	A	28	C
9	A	29	C
10	C	30	B
11	A & C	31	A
12	C	32	D
13	C	33	A
14	A & B	34	C
15	C	35	D
16	A	36	A
17	A	37	B
18	D	38	C
19	A	39	C
20	A	40	A



Driving Professional Growth

EXIN の連絡先

www.exin.com